



全力を出し切りました！～6月4日(木)三泗小学校陸上記録会 6年生出場～



いよいよ三泗小学校陸上記録会本番の日。台風で延期となりましたが、朝から風も穏やかになり、熱中症の心配も少ない曇り空で、記録会日和となりました。朝の様子は、緊張感もなく、リラックスしているようで、楽しそうにバスに乗り込んでいきました。陸上競技場に到着すると、「こんなにも広いんだ」と競技場の広さに驚く子どもたち。開会式ののち、競技が始まると少しずつ緊張感も高まってきました。100m走、走り幅跳び、ボール投げ、そして400mリレー。広い競技場でしたが、水沢小学校の子どもたちの出番になると「がんばれ～!」「落ち着いて」と応援の声が遠くまで聞こえてきました。子どもたちは、これまで放課後の時間を使って練習を重ねてきました。緊張したとは思いますが、競技を終えた子どもたちは、どこか清々しい表情。きっと出せる力を出し切ったのだと思います。最後まで、よくやり切りました!(競技中、応援の様子などの写真につきましては、他校児童も入っているため、学校だより、ホームページでは掲載を控えさせていただきました。)

★6年生児童の感想です(一部抜粋)★

- 私はソフトボール投げで、一番最初できんちょうして、いつ投げればいいのかわからなくて不安な気持ちでいっぱいだった。45mぐらい飛ばす人がいて、びっくりした。いい体験になってうれしかった。
- 学校の練習で、バトンパスは早くできていたのに、本番で少しミスをしてしまった。ずっと緊張していなかったのに、リレーの時になるとむちゃくちゃきんちょうしました。
- ソフトボール投げは、1回目はきんちょうして思ったように飛んでいかず、記録はひくかったと思いました。けれど、2回目はもうミスれないと思って、高く遠くに投げる気持ちで投げました。そしたら、思ったところにいってうれしかったです。記録が楽しみです。
- 今日、ぼくはすごいびっくりした。上には上がいるという、ほかの小学校の子たちのすごさ、足の速さにとてもびっくりした。どんどん自分の番が近づいてくるたびに緊張が強くなってきて、1000人くらいの人たちが見るんだと思うと、とてもきんちょうした。走り始めると、ほかの人たちのスタートダッシュの速さにとても驚きました。走り終えてから思いました。「とてもいい思い出になった。」
- みんな速かった。100m走が短く感じた。最後に、黄色のはちまきの子を逆転できた。黄色のはちまきの子に「足、速いね!」と言われた。うれしかった。また、100走、走りたいと思った。9レースで1位をとれた。また、したいと思った。大事な経験だなと思った。ちがう人と走って見たかった。ちがう競技にも出てみたかった。楽しかった。
- 走り幅跳びの線(踏み切り位置)と砂場の間がせまく感じた。
- 最初に最後の三泗陸上でした。意外と他の学校の人たちがとても速かったので、びっくりしました。とちゅうまで最下位でしたが、さいごにアンカーが抜かしてくれてすごいと思いました。
- リレーをする時、フライングをしたけれど、ピンクのチームがフライングをしたので、大丈夫でした。学校のクラウチングよりやりやすく、フィールドも走りやすかったです。
- ソフトボール投げで、ほかにもいっぱい投げる人がいたから、すごいなと思った。いろんな競技にとてもすごい人ばかりだったから、ぼくももう少しがんばりたいと思った。
- 一番には届き得なかったけど、最後、まあまあ間があったけど、めちゃくちゃきん差で勝ったので、うれしかったです。人生で一番、速かったなと思った。
- 最初に最後の三泗陸上記録会。本番前まではダジャレでかましていたけど、本番になると、しゃべれなくなり、だまりこんだ。なかまががんばっている姿を見て、自分もがんばったけど、前が速すぎて追いつけないほど速かった。
- 本番前までは、めちゃくちゃきんちょうしていた。けれど、一回やってみると、ぜんぜんきんちょうしませんでした。白い線(踏み切り位置)を出てはいけないう意識しすぎて、練習のときより全然跳べませんでした。
- ソフトボール投げで、2番目に投げたので、少しきんちょうしましたが、投げたときは自分の自己ベストを更新した気がしました。いろんな小学校から、いろんな人がきて、35mくらい投げる子もいたので、とてもびっくりしました。私もいつか、30mにいつかみたいですね。あと、もう1球投げたいくらい楽しかったです。もう1回行きたいくらいです。



※各選手の記録は、後日、事務局から届き次第、6年生児童に記録証として渡します。

(文責 岡本 浩樹)